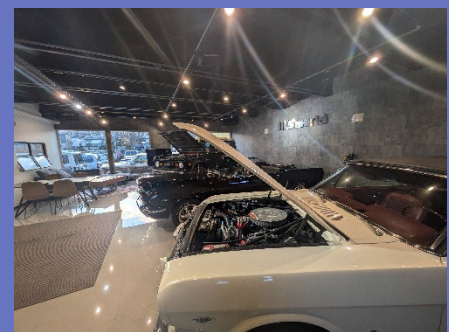




コンテスト優勝やJeep公式にも掲載される店舗「m's mo-to」

○本社所在地：北海道北広島市輪厚中央4丁目2-1

○事業概要：中古車販売・板金塗装
コンサルティング業 再生可能エネルギー
関連事業

○常時使用する従業員：7名
（2025年5月時点）

○現在の売上高：12.1億円
（2024年12月期）

○法人番号：9430001070627

○Web：https://www.ms-moto.co.jp/index.php

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
三上 将史

洗練と独創が交差する、“型にはまらないクオリティ”で人と企業に輝きを。

M's world株式会社は、「洗練と独創が交差する、“型にはまらないクオリティ”で人と企業に輝きを。」を理念に、SUV・JEEPに特化した高付加価値な中古車販売を展開してきました。独自のカスタム力・仕入れ力により、お客様の人生に彩りを添える一台を提供し続けています。現在は、中小企業向け財務コンサルティング、グループによる解体業・引越し・再エネ事業へと多角化し、地域密着型の経営基盤を確立。今後は海外展開、再エネ発電所の運用、車業界向けのITソリューション開発を柱に、事業構造の進化と高収益化を図ります。10年後の売上高100億円は、私たちの理念をより多くの人と企業に届けるための通過点。挑戦を止めず、持続的な成長を実現してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年の売上高100億円を実現すべく、年平均25%前後の成長を目指します。

課題

- 1.中古車販売中心の収益構造から脱却し、エネルギー・物流・IT等の事業領域を含めた多角化が必要。
- 2.国内BtoC中心の販売形態から、海外BtoB・BtoCへの販路拡大と収益性の高い事業体への移行が求められる。
- 3.組織規模（人員・拠点・システム）の拡張とマネジメント体制の強化が不可欠。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 1.再生可能エネルギー事業
発電所及び蓄電所の保有・運用を通じて、安定した高利益率の収益源を確保します。
- 2.海外展開・リユース市場参入
解体業から発生する不用品・リサイクル品を海外の成長市場へ輸出。ジャンル別オークション開催などを通じて販路を拡大。
- 3.車業界向けITソリューションの提供
財務コンサルティングのノウハウを基に、中小自動車事業者向けの業務管理システムを開発・販売。SaaS型モデルでの安定収益を見込む。
- 4.グループ体制・人材の拡充
現6名体制を18名へと拡充。自社工場の増設と営業体制の整備により生産性に対応力を強化。加えてグループ企業の再編・設立を通じて成長エンジンの多極化を図ります。

実施体制

- ・事業実施体制：現在の従業員6名から25名への増員計画。
- ・工場設備：自社整備工場体制の強化、業務効率と品質の向上。
- ・拠点拡大：国内外販路拡大に伴い、営業・物流拠点の新設を視野に
- ・グループ連携：既存の解体・引越し・再エネ関連のグループ会社との連携を強化し、分野横断型の価値提供を目指す。

売上高100億円実現の目標と課題

■ 事業構成と成長戦略

- ① 中古車販売・カスタム事業 SUV・JEEP等の希少車両に特化・高級車両の短期リースプラン（法人向け）を新展開・カスタム・整備・板金も内製化し粗利率アップ
 - ② 法人向け財務コンサルティング 中小企業の補助金活用・融資設計・財務支援を実行・IT導入支援や営業体制構築のサポート（FC展開支援含む）
 - ③ 解体業・引越し業（収集・仕入部門） 家財・業務用設備等を自社で直接回収可能・原価ゼロでの中古商材供給網を形成（物流コストも削減）
 - ④ アジア向けリユース輸出事業（新規主力） 対象国：インド、フィリピン、インドネシア、タイ・チャネル：B2B、実店舗、オンライン、オークション
協業先：・株式会社エコリング...全国的な仕入網・オークション基盤・株式会社石上車輛...車両・資機材ルート+現地輸送支援
 - ⑤ 再生可能エネルギー事業・自社運用による太陽光・蓄電事業の拡大（高収益・節税）・エネルギー自家消費でグループ全体のコスト圧縮も可能
- ※ 高級車リース+再エネ+海外事業を収益の3本柱に設定。

■ 補助金活用の意義

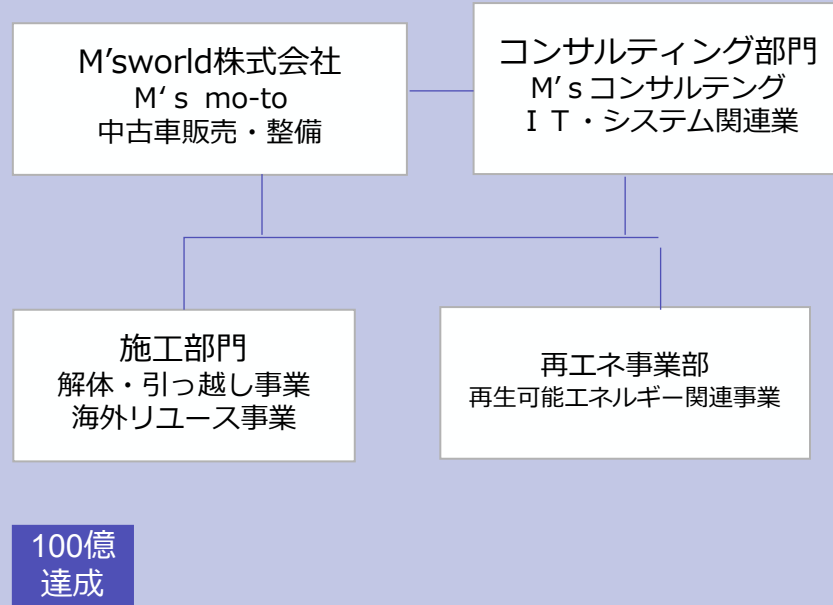
- ・越境EC構築・物流拠点整備・自社オークション構築費に活用
- ・海外法人設立および現地雇用創出にも波及
- ・高利益率の再エネ事業基盤整備（自家消費+余剰売電）

■ 最終目標

- ・地域密着+グローバル展開のハイブリッド成長モデルの確立・中古車
- ・リユース・再エネの三位一体での持続的収益構造
- ・社会課題に応える循環型経済企業としての地位確立

■ 営業利益率モデルと財務成長見通し（全体統合）

売上高



100億
達成

商流図

